

家庭学習の手引き

6年

きそがくりよく ていちゃく

基礎学力の定着を図るために!

継続は、力なり!



○学習を始める前に……

- ・集中できる環境は、整っていますか。
(机の上は、きれいに整頓されていますか。テレビは、消しましたか。)
- ・「今日の宿題は……」連絡帳を見ましたか。
- ・鉛筆は、けずれていますか。
(ふでばこには、えんぴつ5本程度、赤ペン、ネームペン、ものさし、消しゴムは、必ず入れておこう。)

○学習について

(1) 宿題について

- ・まずは自分の「力」でやってみよう。
- ・考えてもわからないときは、
 - ①教科書で調べる。
 - ②辞典・参考書等で調べる。
 - ③おうちの人に(解き方)を聞く。
 - ④学校で先生や友達に(解き方)を聞く。

だれ?



(2) 自主勉強について

- ・今の自分に必要な学習は、何か考えてする。
- ・特別な事情がないときは、1ページ以上する。
- ・はじめに今日の日付を書く。(○月○日○曜日)
- ・適度な大きさの字でていねいに書く。

(3) 漢字の書き取りについて(漢字ドリルの場合)

- ・漢字ノートに正確に書く。(とめ・はね・はらいまで正確に)
- ・ゆっくりていねいに書き、見直しもする。(90点以上をめざす)
- ・さらに確かめをする。(友達やおうちの人にチェックしてもらおう)

(4) 日記について

- ・1行目に題を書く。
- ・ゆっくりと、ていねいに適度な大きさの字で書く。
- ・いろんなところに目を向けて、自分らしい文章を書く。
(学校行事のできごと・家でのハプニング・先生に言いたいこと・近頃感じることなど)



6年

○具体的にこんな学習をしてみよう(予習および復習をしよう)

(1) 国語

- ・ くり返し音読をしよう。(おうちの人に聞いてもらおう)
- ・ 漢字の画数、筆順に気をつけながら、音訓の読み・じゅく語を書こう。
(漢字ドリルの利用)
- ・ 辞書を使って意味調べをしよう。
- ・ 文章を読み、要点をまとめてみよう。

(2) 社会

- ・ 習ったことをノートにまとめ、感想をメモしよう。
(歴史だと、人物やその人の業績などをまとめるのもいいでしょう。)
- ・ 社会科資料集、年表、地図などの情報を有効に使おう。
- ・ 新聞やテレビのニュースなどを毎日見て、情報を集めよう。
- ・ 難しい言葉は、辞書や資料集を使って、積極的に調べよう。

(3) 算数

- ・ 教科書が基本です。習ったところをもう一度やろう。
- ・ 十分でないところを繰り返しやろう。理解が不十分なときは、必ず先生や友達に質問しよう。分かったつもりや人に聞くことを恥ずかしがる気持ちは危険です。
- ・ 明日習う問題(予習)や自分の問題集などに積極的にチャレンジしよう。
- ・ 解き方は、一つじゃないよ。いろんな解き方をしてみよう。
(教科書のつばさ君たちのように)

(4) 理科

- ・ 習ったところをノートにまとめ、感想をメモしよう。
- ・ 身の回りの自然事象について、ふだんから関心を持って見ていよう。
(あらかじめ、教科書などを見ておくのもよいでしょう。)
- ・ 図かんや参考書などを進んで調べよう。新聞や雑誌からもおもしろいことが見つかりますよ。
- ・ 新聞や雑誌などの切り抜きなどを集めよう。

(5) 体験的学習

- ・ 生活体験は大事です。手伝いや各種のもよおしへの参加などを通して、いろんなことを身につけよう。
(リンゴの皮むき・服のほころびやボタンつけ・釘うちはできるかな・鼻血が出たらどうする? 20%オフってどういうこと? なぜ、ツバメが低く飛んでいると雨が降るのだろうか?)

○学習が終わったら

- ・ 宿題が全部できたか確かめて、次の日の時間割を寝るまでにしましょう。
(朝は、再確認)
- ・ 忘れ物は、自分の責任です。自分でできる用意は、自分でしましょう。
- ・ 手紙の返事など家の人に用意してもらう物があるときは、学校から帰ったら、できるだけ早く家の人に伝え準備してもらいましょう。
「ありがとうの一言を忘れずに」

